

令和元年9月市議会環境経済委員会資料

第104号議案 令和元年度長崎市一般会計補正予算（第3号）

目次

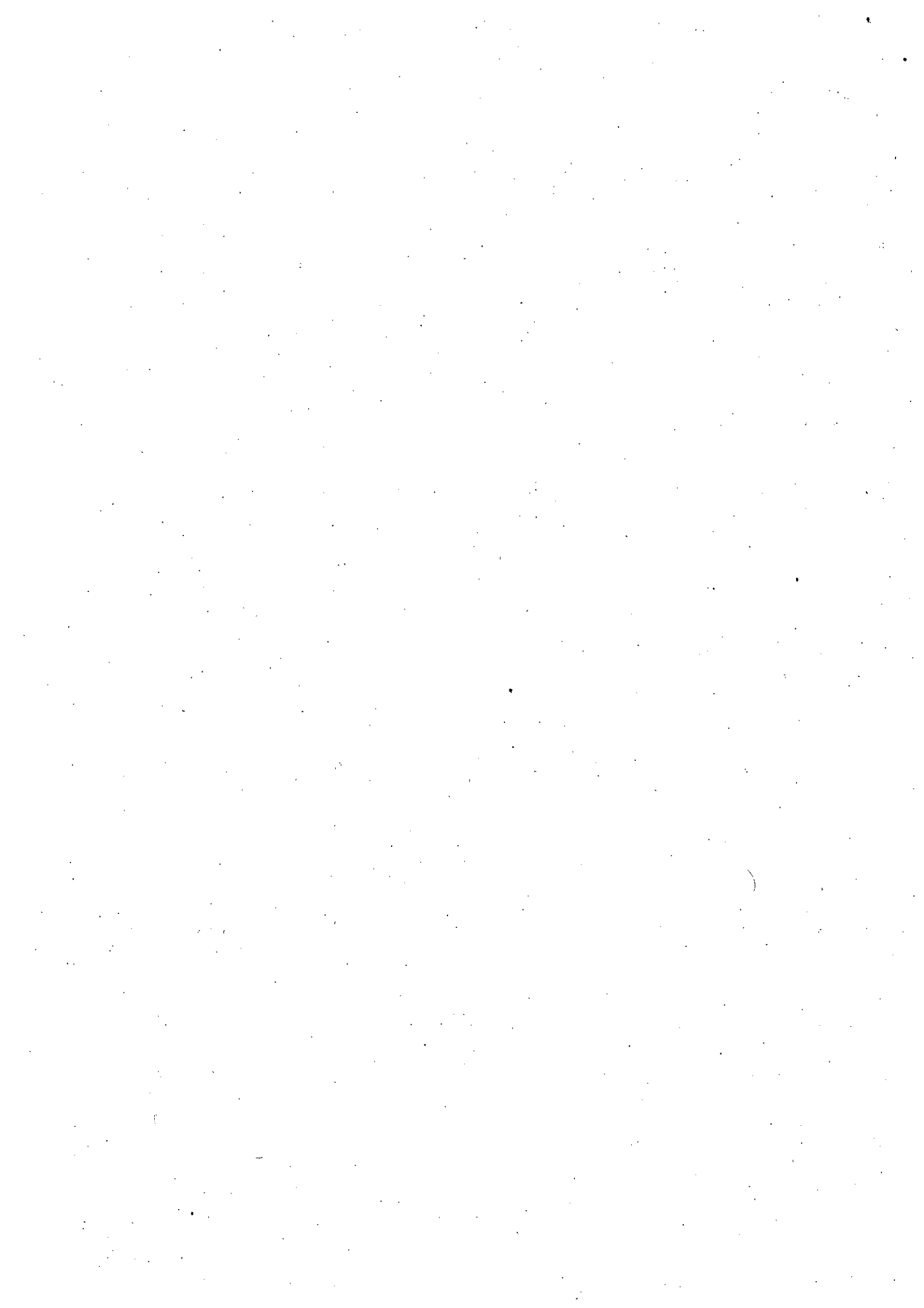
【予算説明書ページ】 【ページ】

7款1項2目 商工振興費

1 ナイトタイムエコノミー推進費	………… 24～25 ……………	1
2 新産業・起業チャレンジ促進費	………… 24～25 ……………	2

商 工 部

令 和 元 年 9 月



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
24~ 25	7 商工費	1 商工費	2 商工振興費	1-1	ナイトタイムエコノミー推進費	千円 670

1 概要

長崎市における観光統計の推移では、観光客数は増加傾向にあるが、宿泊客数の伸びは低調であり、観光客による消費需要を十分に盛り込めていない。

また、今後、MICEによる来訪者の増加も見込まれることから、新たな「夜間」の魅力を開拓・発信し、宿泊や滞在時間を増やすとともに、夜間の消費行動を喚起させて、経済の活性化につなげることを目的とした「ナイトタイムエコノミー（夜間の経済活動）」を推進する。

「ナイトタイムエコノミー」：地域の状況に応じた夜間の楽しみ方を拡充し、夜ならではの消費活動や魅力創出をすることで、経済効果を高めるもの。

2 事業内容

ナイトタイムエコノミーを推進するための組織を設立し、文化・経済の両面から、長崎ならではの夜間の消費活動や魅力の創出につながる事業・コンテンツの開発や実施に向けた取組の支援を行う。

(1) ナイトタイムエコノミー推進組織（「（仮称）ナイトタイム委員会」）の設立

ナイトタイムエコノミーの推進に向けて、事業の担い手となる民間事業者、音楽・芸術・伝統芸能等の文化団体をはじめ、長崎青年3団体やDMO等の参画を得ながら、官民連携による取組を促していく組織を設立する。

(2) 会議・調査（予算：670千円）

ナイトタイムエコノミーの推進に向けた検討及び必要な知識・情報を得るため、次の活動を行う。

ア 会議・視察（予算：221千円）

（仮称）ナイトタイム委員会のメンバーや関係者との会議を開催し、ナイトタイムエコノミー推進のための課題や具体的な取組等についての検討を行うとともに、先進的に取組む都市の視察を行う。

イ セミナー開催（予算：449千円）

関係者・団体を対象にナイトタイムエコノミーを推奨、実践する専門家を招へいし、ナイトタイムエコノミーの推進に係る事例やあり方等についてのセミナーを行う。

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 670	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 670

予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
24～ 25	7 商工費	1 商工費	2 商工振興費	2-1	新産業・起業チャレンジ 促進費	千円 741

1 概要

長崎市においては、造船業、水産業、観光業などが基幹産業であるが、時代の変遷の中で様々な環境の変化が生じている。このような変化に対応し、地域経済の維持・発展を図るためには、新たな産業の創出や起業に向けたチャレンジが必要である。

そうした中、市内の一部企業による新分野への進出や起業に向けたチャレンジの動きはあるものの、その重要性や必要性について広く市民全体に浸透するには至っていない。

そのため、長崎での新産業創出の可能性や先進事例などを紹介することで、企業や市民の新産業・起業に向けた機運を醸成する。

2 事業内容

(1) (仮称)ながさき新産業・起業チャレンジセミナーの開催 (予算：741千円)

ア 対 象 新産業創出に関心のある市内企業・起業に関心のある市民

イ 実施時期 11月～12月

ウ 内 容

(ア) 講 演 (仮称)「ながさき」の新産業創出等における可能性
外部講師(学識経験者等)を招へいし、長崎における新産業創出や
起業の魅力、将来性についての講演を行う。

(イ) 事例紹介 長崎での新産業創出や起業に係る動き
(例)・情報関連産業(AI、IoTなど)の立地及び地場企業との
連携
・金融機関等による人材育成

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
741	—	—	—	—	741